
事業報告書

ANNUAL REPORT

平成16年度 '04.4~'05.3

社団法人 中部産業連盟

I. 事業活動の総括（平成16.4～平成17.3）

1. 改革計画道半ばの日本経済

平成16年をかえりみたととき、日本経済は、今だバブル期の多角化・大型投資などに翻弄され変革できなかつた大手流通業や不良債権処理問題をかかえたメガ・バンク、また小泉内閣が命運をかけた郵政民営化問題の未成立、さらにここに来て伝統ある大企業における不祥事など、急激な時代の流れに取り残された名門企業の綻びがみられた。

平成16年度は、好調だった実質GDPの伸び率は、第1四半期（4月～6月）から第2四半期まで連続マイナス成長に転じ、第3四半期（10月～12月）はわずか年率0.5%にとどまった。主因は、GDPの50%を占める民間消費の低迷と15%を占める民間企業の設備投資が調整局面に入り鈍化したことである。

日本経済は、大手企業においては、リストラ効果により急速な景気回復が見られ、史上最高の増収増益をもたらせた。一方、中小企業は依然としてきびしく、全体として景気の踊り場から抜け出すことができなかった。また、小泉内閣のかかげた道路公団の民営化、郵政民営化など構造改革は次年度に持ち越しとなった。

このような状況下で、中産連は会員企業をはじめ広く産業界の解決すべき課題やニーズを適確に捉え、新しいマネジメント・システムの導入、経営改革・組織改革、企業再生、コスト・ダウンをめざした現場改善、人材育成、そして企業の国際化対応を強力に支援するコンサルテーション、公開セミナー、講演会、研究会、視察団派遣など普及活動を行なった。

本年度は、日本経営管理標準普及活動、VM活動支援などが活発化した反面、国際標準化事業が一巡し、全体として事業活動が踊り場的時期となった。

2. 平成16年度 事業活動実績の要約

本年度（平成16年4月1日～平成17年3月31日）において、次の諸事業、プロジェクトの普及活動を実施。

1. 国内コンサルティング事業活動

- (1) 本部（名古屋）324社、東京本部133社、長野コンサルティング事業部14社に対してコンサルテーション、研修を実施
- (2) 43の専門機関より要請を受け、コンサルティング、教育訓練を実施

受注先	本部	東京	長野	総計(社)
一般会員企業ならびに非会員企業	324	133	14	471
専門機関、公共機関からの要請 (診断・コンサルテーション・調査)	43			

(研究第二部)

- (1) コア人材の発掘と育成のための体系的研修プログラム（企業内研修）
 - 1) 戦略事業計画立案
 - 2) 新ビジネスモデルの研究
 - 3) ビジネスシュミレーションゲーム
 - 4) 組織開発
 - 5) マネジメント能力の育成

実績

・部長研修	2社
・部長研修フォローアップ	1社
・若手経営後継者育成	1社

(2) 戦略市場計画プログラム

(マーケティング戦略策定と提案型営業の展開)

- 1) 戦略的マーケティング—顧客満足度調査ほか
- 2) 戦略市場計画—プロダクト・ポートフォリオほか
- 3) 営業部門の革新—購買プロセス分析ほか
- 4) 営業の生産性向上—顧客攻略プロセス革新の事例研究

実績

・顧客満足度調査	2社
----------	----

(3) 提案型営業力開発プログラム (営業力診断と提案型営業力向上研修)

実績

・営業力診断と研修	2社
-----------	----

(研究第三部)

(1) 「あらゆる業種に活かすトヨタ方式」業務改革プログラムの開発と

導入支援

- 1) 作業改善トライアル (1週間コース)
- 2) 物流改善トライアル (1ヶ月コース)
- 3) 実需連動ものづくりトライアル (3ヶ月コース)

4) 現場改善インストラクター養成(3ヶ月コース)

実績

・紹介セミナー	3回(名古屋2回、大阪1回)
---------	----------------

(2) 「評価基準」によるトヨタ方式導入支援プログラムの開発と実践 (コンサルティング事業部)

(1) 第1コンサルティング部

人事制度改革、経営管理システム、情報管理システム、社内管理体制確立などをテーマにコンサルティング実施

- 1) 実力成果型人事制度の導入
- 2) 経営ビジョン設定、中長期経営計画策定
- 3) 目標管理の定着化ほか

<調査プロジェクト>

- 1) 製品市場価値に関する調査
- 2) マスキングテープ米国市場調査ほか

<企業内研修>

- 1) 役員研修、管理者研修、監督者研修
- 2) 人事考課者訓練
- 3) 自治体階層別研修ほか

(2) 第2コンサルティング部

「儲かる工場づくり」をテーマに企業業績の向上に貢献すべく生産工場の利益アップ、赤字工場の黒字化、などをテーマにコンサルティングを実施

- 1) 「儲かる工場づくり」

- 2) 「生産改善」
- 3) 「5Sによる生産性向上」
- 4) 「“速・効・活・創” 業務改善」ほか

<企業内研修>

- 1) 業務チーム効率化に関する自主研研修
- 2) 製造現場の生産性効率アップと品質管理講座
- 3) 実践的コストダウンの進め方ほか

2. 研究開発事業活動

(1) 職員の発表論文と受賞

- ・第56回 全国能率大会（平成16年7月13日・東京）

表彰	分野	受賞者
全日本能率連盟賞 (第55回大会)	経営戦略・組織改革 業務改善	主任コンサルタント 畑澤 馨 コンサルタント 吉田 薫

- ・日本経営診断学会（平成16年10月）

表彰	受賞者
入 選	主任コンサルタント 山崎 康夫

- ・平成16年度全日本能率連盟 顕彰

顕彰名	顕彰者
顕彰牌	副田 武夫
表彰牌	町田 智彰
表彰牌	寒河江 克昌

(2) 中産連マネジメント大会

所属コンサルタントが研究・開発し、実践効果の上ったマネジメント・ノウハウ披露の会

・第17回マネジメント大会開催（名古屋）

テーマ：競争力向上のためのマネジメント追求

参加人数：621名（第1部会455名 第2部会166名）

会場：名古屋東急ホテル

開催日：平成17年2月15日(火)

・第11回マネジメント大会（東京）

テーマ：革新的マネジメント手法と推進成功事例

参加人数：209名（総合部会85名 生産部会124名）

会場：アルカディア市ヶ谷

開催日：平成16年11月15日(月)

3. 「日本経営管理標準（JMS）」推進事業活動

(1) 「日本経営管理標準（JMS）推進機構」の活動

理事長 渡辺 捷昭氏（トヨタ自動車㈱ 取締役副社長）

・企画委員会開催：4回

- ・活動内容：「日常管理＝当り前のことの実践」をキーワードとして、「管理とは何をどうすることか」を日本のものづくりの思想哲学的な部分にまで徹底的に掘り下げる活動を行い、具体的な作業を行った。

(2) 経営者特別講演会—「ものづくりの未来を拓く」

回	開催日	講師	会場	参加者
第1回	平成16年8月2日	リンナイ(株) 取締役会長 内藤 明人氏 トヨタ自動車(株) 取締役副社長 渡辺 捷昭氏	名古屋観光ホテル	190
第2回	平成16年9月3日	ヤマハ発動機(株) 相談役 長谷川 武彦氏 ソニーイーエムシーエス(株) 美濃加茂テックプレジデント 加藤 典孝氏	ウェスティンナゴヤ キャッスル	180
第3回	平成16年11月12日	日野自動車(株) 取締役会長 蛇川 忠暉氏 ブラザー工業(株) 取締役会長 安井 義博氏	ホテルグランコート 名古屋	180

(3) 「平成16年度標準化文献賞奨励賞」受賞（財）日本規格協会）

対象：『工場管理』平成15年9月号特集号

「JMS（日本経営管理標準）実践のすべて」

(4) コンサルテーション・企業内研修・公開セミナー

コンサルテーション	企業内研修	公開セミナー
62社	33社	8コース

(5) 受託事業

1) 環境パートナーシップ・CLUB（略称：EPOC）

会 長：トヨタ自動車(株)代表取締役副会長 池淵 浩介氏

会員数：321社（平成17年3月末日現在）

2) 「ものづくり日本大賞」中部地域事務局

受託期間：平成16年12月1日～平成17年3月31日

受 託 先：(株)日本機械工業連合会

担当地域：愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県

※本賞は、総理大臣表彰制度

4. 国際協力事業活動

(1) 全面委託集団研修コースの実施

中産連は、発展途上国からの研修員を日本に受け入れて実施する教育訓練について、コースの企画から実施全般を全面的に受託

コース名	主催	対象国	研修員数	期間	日数
全社品質・生産性向上研修コース	JICA	メキシコ	12	平成16年5月7日～10月15日	5ヶ月
工業分野における経営コンサルティング	JICA	ベネズエラ	4	平成16年6月7日～7月16日	1.5ヶ月
全産業界のレベルアップ	JICA	チュニジア	10	平成16年9月6日～10月8日	1ヶ月
生産性向上研修コース	JICA	モルドバ	8	平成16年11月15日～12月10日	1ヶ月
中小企業経営・品質管理コース	JICA	ルーマニア	8	平成17年1月24日～3月4日	1.5ヶ月
生産管理研修コース(SAPS)	AOTS	南アフリカ	14	平成17年3月7日～3月18日	2週間

(2) 経営管理研修コースへの講師派遣

コース名	主催	対象国	研修員数	期間	日数
改善活動実践研修コース(VIIA)	AOTS	ベトナム	29	平成16年7月7日～7月20日	2週間
			15	平成16年11月17日～11月30日	2週間
改善活動実践研修コース(THIA)	AOTS	タイ	25	平成17年2月2日～2月15日	2週間

[注] 1) JICA : 独立行政法人 国際協力機構
2) AOTS : 財団法人 海外技術者研修協会

(3) その他一般講師派遣、海外での国際協力事業

区 分	件 数	関 係 国	主 催
国内で実施の海外研修生を対象としたコースへの講師派遣	19	中国ほか8カ国	AOTSほか
海外で実施する国際協力事業の受託	1	南アフリカ	AOTS
海外で実施する国際協力事業へ講師派遣	4	ベトナム (1) タイ (3)	AOTS
海外で実施するセミナー、コンサルテーションへ専門家派遣	2	メキシコ (1) モルドバ (1)	A社 JICA
他機関が企画した海外への調査・視察団参加	2	タイ ギリシャ	J-VAC 全能連

5. 首都圏におけるコンサルティング・研修事業活動

(東京本部)

(1) コンサルティング事業

VM（目で見える経営）活動の推進による企業体質の改革、フレキシブル生産システム（FMS）の確立による生産革新、生産現場改善によるコストダウン、5S活動の推進、在庫削減とリードタイム短縮の推進、組織改革、管理会計制度の導入、業績評価制度の導入、管理・間接業務の効率化、間接部門のVMの推進、目標管理制度の導入、人事制度の革新と組織の活性化の推進、賃金制度・退職金制度の改革、マーケティング戦略の構築と展開、ISO9000と14001認証取得のための品質保証体制の確立など、140件のコンサルティングを実施。

(2) マネジメント研修事業

1) MSC会（経営戦略同好会）活動

例 会	12回	延 120人
-----	-----	--------

2) 公開セミナー57コース

3) 企業内研修事業

CAP（中産連アセスメントプログラム）による経営者・管理者・監督者の階層別企業内教育研修、目標管理制度導入のための管理者研修、行動改革・意識改革のための管理者研修、新入社員から管理者までを対象とした階層別企業内教育研修の実施、生産管理・人事管理などの各分野の機能別教育研修、ISO9000認証取得のための内部品質監査員養成研修など企業内研修を実施。

4) 中産連VM賞（Visual Management＝目で見える経営）の授与

VM活動を推進して企業体質の革新を図られたパイオニアマニュファクチャリングタイランド株式会社に対して平成17年2月25日に「中産連VM本賞」を授与して表彰。

6. 長野・信越圏におけるコンサルティング・研修事業活動

（長野コンサルティング事業部）

(1) コンサルテーション・企業内研修・研究会

生産効率化、TPS指導、製造管理者育成、生産システム構築、生産技術マントレーニング、見極め人・攻め方人養成、監督者の日常維持力開発トレーニング、JMS研修、PASPAS研修などを実施

コンサルテーション	企業内研修	研究会	公開研修
6	10	2	5

7. 国際標準規格 I S O 関係事業活動

(I S O 事業部)

I S O 9001 / 14001、T S 16949、O H S 18001、I S M S、

I S O 13485 (国際規格標準) 関係活動事業

(1) 事業活動の総括

1) I S O 9001 / 14001 など認証取得支援のためのコンサルティング機関ならびに教育機関として、連盟所属コンサルタントのうち、約 80 名が主任審査員、審査員ならびに審査員補 (J R C A、C E A R 認定) の資格を有し、わが国屈指の機関。

2) I S O 9001 および 14001 の審査員研修機関 (財) 日本適合性認定協会《 J A B 》から認定)、 I S M S の審査員研修機関 (財) 日本情報処理開発協会《 J I P D E C 》から認定) として審査員研修を拡大し実施。 I S O 9001、I S O 14001 及び I S M S の 3 つのコースを認定されている中部地区では、唯一の機関。

3) 実績

	ISO9001	ISO14001	OHSAS18001	ISMS	ISO13485
コンサルテーション (企業内研修)	130	74	3	57	2
公開研修	163	124	7	19	
審査員養成コース	7	9		3	

4) 第 7 回欧州環境視察団

日 程 : 平成 16 年 7 月 11 日 ~ 18 日 (8 日間)

参加者 : 17 社 21 名、事務局 2 名 総参加者 23 名

訪問国 : イギリス、ドイツ、フランス、ベルギー

8. 「トヨタ生産方式研究会」事業活動

(トヨタ生産方式研究会)

特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化」

講演者 トヨタ自動車(株) 技監 林 南八氏

内 容 と 講 師	春 季		秋 季	
	期 間	参加者	期 間	参加者
PART I 「改善の進め方」講座 春季 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 三浦 憲二氏 ほか6名 秋季 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 三浦 憲二氏 ほか6名	平成16年 5月12日～ 14日	300	平成16年 9月15日～ 17日	300
PART II 「作業改善」研修 春季 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 三浦 憲二氏 同部主査 伊原木 秀松氏、村本 範貴氏 アイシン精機(株)、(株)東海理化 アラコ(株)、豊田合成(株) 秋季 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 三浦 憲二氏 同部主査 伊原木 秀松氏、村本 範貴氏 アイシン精機(株)、(株)デンソー トヨタ紡織(株)、豊田合成(株)	平成16年 6月13日～ 18日	64	平成16年 10月17日～ 22日	64

9. 会員事業活動

(会員事業部)

(1) マネジメント研修部

創造性豊かな人材の育成をねらいに、中産連“創造の船”(第20回)を実施。また、会員企業を中心に産業界全体に対し、時代の要請に応え得る人材を育成する公開研修事業や技術革新、グローバル化に対応した長期研究会、海外視察団の編成、様々な課題や要望に合わせた企業内研修、コンサルテーション事業を実施。

1) 公開研修

分野	プロジェクト数	社数	参加者
1. 公開研修	255	2,888	4,018
2. 研究会	3	55	63
フォーラム	3	303	412
海外研修	4	45	51
海外受託研修	2	50	56
3. 海外洋上研修	1	92	189
4. 企業内研修	118	97	
コンサルテーション	40	40	
合計	426	3,570社	4,789名

2) 受託事務局

①(社)日本バリュー・エンジニアリング協会 中部支部

VE研修、建設VE研修会、原価とVE研究会他の実施

②日本設備管理学会東海支部

総会・シンポジウムの実施

(2) 会員サービス部

1) プロGRESS (中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌) の発行
毎月2000部

2) 会員懇話会 (無料講演会) 毎月1回開催 参加者180名 (毎回)

3) 経営相談室 (無料)

経営全般に関する無料相談室と、企業法務に焦点を当てた経営法
務無料相談室を開設

4) 中産連ビデオサービス

会員企業に対し、メンバー登録制によるビデオギャラリーを開設

5) 受託事務局

①日本経営近代化協会 (SAM) 名古屋支部

②日本広報学会 中部部会

6) 中産連ホームページ

当連盟団体概要の紹介、会員企業へのリンクサービスのほか、
WEB上からのセミナー申込み、コンサルテーションの問い合わせ
等の情報提供

7) 中産連人材育成フォーラム

平成17年度研修事業計画を説明

8) マネジメント小冊子 (無料) の発行

・『平成16年度中産連会員懇話会抄録集』

・経営者特別講演会『ものづくりの未来を拓く講演抄録集』

10. 業務報告

(1) 会 勢

平成17年3月末日現在の会員数は824社（入会32社、退会40社）である。

(2) 会 議

1) 総 会

平成16年度通常総会

- | | |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| と き | 平成16年6月16日(水) 14時～15時35分 |
| と ころ | 名古屋国際ホテル（2階 老松の間） |
| 出席会員 | 580会員 |
| 議 件 | (1) 平成16・17年度役員選任の件
(2) 平成15年度事業報告および収支決算書類承認の件
(3) 平成16年度事業計画および収支予算審議決定の件ほか |

2) 理事会

第243回理事会

- | | |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| と き | 平成16年5月21日(金) 13時～14時10分 |
| と ころ | ウェスティンナゴヤキャッスル（3階 松の間） |
| 出席者 | 理事49名、監事1名 |
| 議 件 | (1) 平成16・17年度役員選任に関する件
(2) 平成15年度事業報告および収支決算案に関する件
(3) 平成16・17年度会長、副会長、常任理事、専務 |

理事および常務理事の互選に関する件

(4) 中国北京連絡事務所開設の件ほか

臨時理事会

- と き 平成16年6月16日(水)14時20分～14時40分
- と ころ 名古屋国際ホテル(2階 牡丹の間)
- 出席者 理事49名、監事1名
- 議 件 (1) 平成16・17年度会長、副会長、常任理事、専務理事および常務理事互選の件

第244回理事会

- と き 平成16年11月17日(水) 13時～13時50分
- と ころ 名古屋観光ホテル(3階 楠の間)
- 出席者 理事49名、監事1名
- 議 件 (1) 平成16年度上半期実施事業ならびに収支概況報告の件

第245回理事会

- と き 平成17年3月22日(火) 13時～13時50分
- と ころ ウェスティンナゴヤキャッスル(3階 萩の間)
- 出席者 理事49名、監事1名
- 議 件 (1) 平成17年度事業計画および収支予算案の件

(3) 職員の状況

平成17年3月末日現在の正職員は男子80名、女子33名の合計113名である。

11. 協力活動

(1) 外郭団体・研究会等に対する協力

連盟が業務を受託、または協力している団体は下記のとおりである。

- ・ J E A 経営研究 (J E C)
- ・ (社) 日本バリュー・エンジニアリング協会 中部支部
- ・ 日本 B M 協会
- ・ 経営企画士会 (社) 全日本能率連盟登録)
- ・ 日本広報学会 中部部会
- ・ 日本設備管理学会 東海支部
- ・ 日本経営近代化協会 (S A M) 名古屋支部

(2) 関連法人

- ・ 中産連ビルディング(株)
- ・ (株)リーム中産連

(3) 専門団体連絡協議会

マネジメントの分野で全国的に活動を行なっている16の公益法人(機関)で組織している専門団体連絡協議会(略称・専団連)のうち、15団体までが東京に本部をおいているが、当連盟は東京以外に本部を持つ唯一の全国的マネジメント専門団体として、この協議会の中核的メンバーとなっている。